

2014年第1四半期(1-3月)課税出荷数量ヘッドライン

1. 市場全体の概況

- ◆ ビール・発泡酒・新ジャンル市場は、消費税増税に伴う駆け込み需要の影響もあり、プラス(+10.0%)。
- ◆ ビール市場は、プラス(+10.4%)。
- ◆ 発泡酒市場は、プラス(+8.2%)。
- ◆ 新ジャンル市場は、プラス(+10.1%)。構成比は38.5%に。

2. キリン社概況

- ◆ ビール・発泡酒・新ジャンル計は、プラス(+6.1%)。今年リニューアルした「一番搾り」「淡麗グリーンラベル」「のどごし」が好調に推移。
- ◆ ビール計は、プラス(+5.5%)。
- ◆ 発泡酒計は、プラス(+4.4%)。
- ◆ 新ジャンル計は、プラス(+8.2%)。

《ビール》

- 「一番搾り」は、リニューアル効果もあり、プラス(+10.6%)と好調に推移。特に「一番搾り」缶は約3割の大幅プラスとなったほか、飲食店向けの「一番搾り」樽もプラスになった。

《発泡酒》

- 「淡麗グリーンラベル」は、リニューアル効果もあり、プラス(+10.8%)と好調に推移。昨今の健康志向の高まりを背景にお客様の支持を拡大している。

《新ジャンル》

- 2005年4月の発売以来、新ジャンル市場で圧倒的な販売量を誇る「のどごし〈生〉」は、リニューアル効果もあり、プラス(+8.7%)と好調に推移。

《RTD》

- RTD計は、20%以上のプラス。「氷結」は、ストロングシリーズの好調もあり、プラス(+17.9%)となったほか、昨年過去最高の販売数量を記録した「本搾り」は、大幅増(+79.1%)と好調に推移。

※ ブランド別の対前年比は販売数による。

以 上